

令和元年度 宇都宮市立田原中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入したもの。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

(1) 基本目標

人間の尊厳を重んじる教育を基盤に、生きる力をはぐくむことを目指し、未来を切り拓いていける生徒を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

① 自ら学び実力のある生徒

（学習習慣の確立に努め、自ら学び自ら考える生徒を育成する）

② 心豊かで思いやりのある生徒

（豊かな心を持ち、社会の変化に主体的に対応できる生徒を育成する）

③ 健康でたくましい生徒

（心身の鍛錬に努め、健康で活力のある生徒を育成する）

(3) 生徒指標

「よく学び、よく鍛えよ」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・学校は、子どもたちにとって、「安心できる居場所」であること
- ・学校は、教職員にとって、「遣り甲斐を感じる場所」であること
- ・学校は、保護者・地域の方々から、「信頼される場所」であること

上記のような学校を目指し、心のふれ合う豊かな人間関係に支えられた温かみのある学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえながら、生徒の実態や学校や地域の特色を生かした教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 学習意欲を高める指導や基礎・基本の確実な定着を図る指導、さらには、個に応じた指導方法や指導体制の工夫・改善を図るとともに、家庭学習の定着・充実を図ることにより、生徒一人ひとりの確かな学力の育成に努める。
- (3) 生徒一人ひとりの共感的理解を基盤とした生徒指導の充実を図り、望ましい人間関係を核とする学級集団づくりを通して、豊かな人間性や社会性の育成に努める。
- (4) 道徳の時間や心の教育の充実を図り、生徒一人ひとりの道徳的実践力を高めるとともに、読書活動や生徒が主体的に取り組む体験活動を通して、生徒の内面に根ざした心を育むことに努める。
- (5) 家庭や地域との連携を図りながら、健康管理や体力づくりを推進するとともに、食に関する指導の充実を図り、生徒一人ひとりが将来にわたって心身ともに健康に生活していける指導に努める。
- (6) 教育活動全体を通して、発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を推進し、生徒一人ひとりの社会的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。
- (7) 学校内の連携並びに家庭や関係機関との連携を図った特別支援教育を推進し、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導と長期的な視点に立った支援に努める。
- (8) 田原地域学校園内の連携・強化を図りながら小中一貫教育を推進し、学校園教育ビジョンが掲げる生徒の育成に努める。
- (9) 愛校心と互助の精神に支えられた望ましい人間関係や教育環境を整備し、良き伝統や地域の特性、教職員の創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進に努める。
- (10) 学校・家庭・地域社会との連携を深め、共に歩む学校づくりを推進し、風通しのよい信頼される学校づくりに努める。
- (11) 新たな教育課題等への対応と、業務の適正化の推進に努める。

【田原地域学校園教育ビジョン】 自らすすんで何事にも取り組む子どもの育成

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育基本法，学校教育法，学校教育法施行規則，中学校学習指導要領，地方教育行政の組織及び運営に関する法律，県教育委員会の方針・宇都宮市学校教育スタンダード等の示すところに従い，公教育の自覚のもとに全職員の理解と協力を努め本校教育課程を編成する。
- (2) 教育課程の編成に当たっては，生徒に生きる力をはぐくむことを目指し，教育活動を展開する中で，自ら学び自ら考える力をもつ生徒の育成を目指し，学校教育目標を達成するよう次の事項に留意する。
- (3) 道徳教育は，学校の教育活動全体を通じて行うことを基本とし，道徳教育充実のため，教師と生徒及び生徒相互の人間関係を深めるとともに，家庭や地域社会との連携を図るよう留意する。
- (4) 体育・健康の指導は，学校教育全体を通じて適切に行い，特に体力の向上及び心身の健康の保持増進については，保健体育科の時間はもとより，特別活動などにおいても十分指導できるよう留意する。
- (5) 本年度 宇都宮市学校教育スタンダードをもとに，その目標達成のための教育課程を編成する。
- (6) 小中9年間の一貫した教育課程の編成のため，具体的に次の点において連携を図り，教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

◎「生徒一人ひとりの主体性を高める指導の充実」

- ・ 自分のよさに気づき，自信を持たせる指導の強化
- ・ 活動の意欲を高め，粘り強く取り組ませる指導の強化
- ・ 自分の力でやり遂げる体験や場の強化
- ・ 生徒のよさを認め，ほめて伸ばす指導の強化
- ・ 互いに学び合う集団づくりの強化

◎「自ら学びに向かい学力を高める指導の充実」

- 自主的・主体的な学習態度の育成強化
- ・ 学びに向かう集団づくりの強化
- ・ 個に応じた指導の工夫の強化
- ・ 小中連携による家庭学習の習慣化の強化

【 学 習 指 導 】

テーマ「自ら学ぶ意欲を高め，基礎・基本の確実な定着ができる生徒の育成」

- 学習態度や学習習慣を身につけさせる指導の充実
 - ・ 学習意欲を高める指導方法の工夫・改善を目的とした校内授業研究会の実施
 - ・ 習熟度別学習及びT.T授業やかがやきルームによる個に応じたわかる授業の推進
- 家庭学習の習慣化を図る工夫
 - ・ 教育活動全体を通した言語活動の実践

【 児 童 生 徒 指 導 】

テーマ「望ましい人間関係の構築を図り，自主・自律の精神を育む生徒の育成」

- 自らすすんで気持ちのよいあいさつのできる生徒の育成
 - ・ 正しい判断のもと，自分のよさを発揮できる生徒の育成
 - ・ 豊かな人間性や社会性を身につけさせるためのSGEやSSTを取り入れた指導の工夫
(SGE：構成的グループ・エンカウンター SST：ソーシャルスキルトレーニング)
- Q-U検査を活用した学びに向かう学級集団づくりの推進
- SC及び教育関係機関との連携を密にした教育相談体制の強化

【健康（体力・保健・食・安全）】

テーマ「自分の健康や体力に関心をもち，心身ともに健全でたくましく生きる生徒の育成」

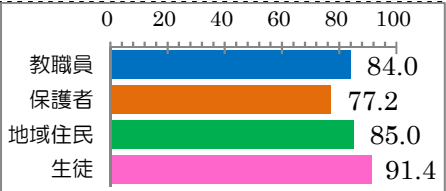
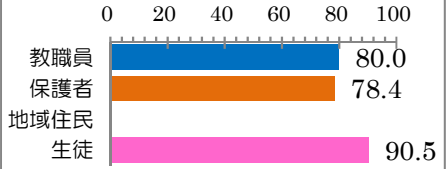
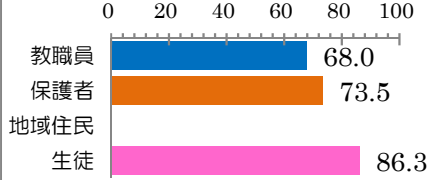
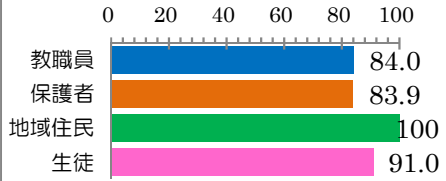
- 基本的生活習慣の確立と望ましい食生活の定着（早寝・早起き・朝ごはん）
- 健康診断結果を生かした家庭との連携による効果的な健康教育の推進
 - ・ 各種だよりを通した家庭への啓発及び家庭における実践の推進

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

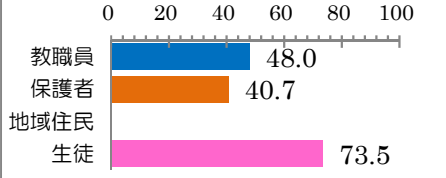
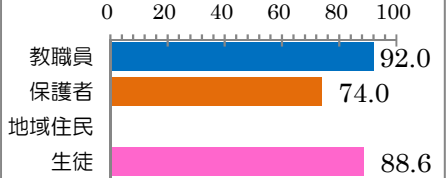
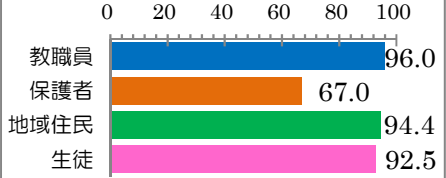
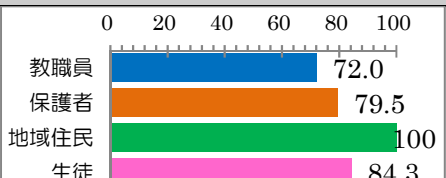
※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に・印または該当箇所に下線を付ける。

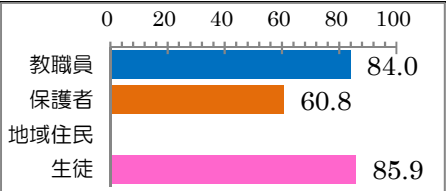
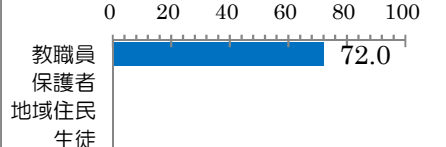
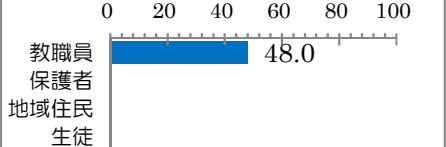
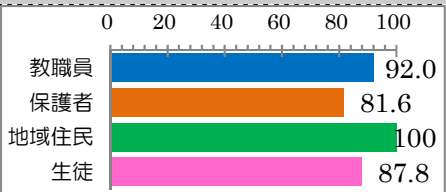
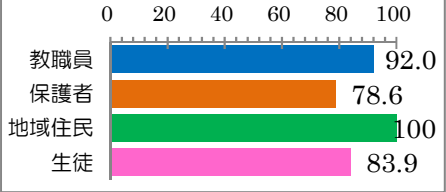
※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

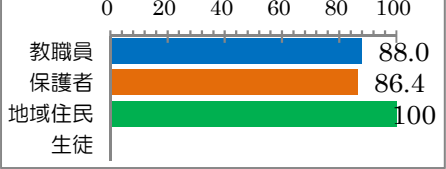
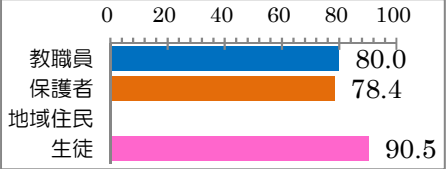
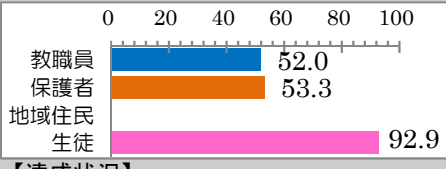
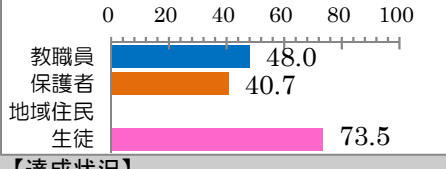
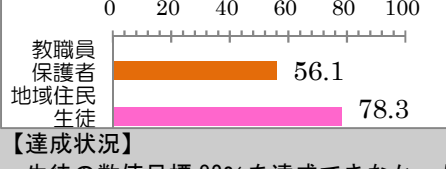
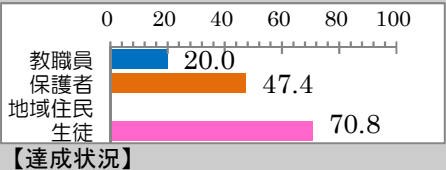
項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 (H30 A17) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 82%	授業では ① 学習の「めあて」を明確に示し、生徒が自主的・主体的に学習に取り組む環境を整えるとともに「振り返り」を必ず行う。 ② 書く・話す・発表する等を意識した授業展開を工夫する。 家庭学習の充実を目指して ① 毎週水曜日を「家庭学習の日」とし部活動なしで一斉下校させる。 ② 生徒が学習に主体的に取り組めるよう、「学び方」の理解や「学ぶ楽しさ」を味わわせるための宿題を工夫する。 ③ 学年に応じた自主学習を推奨する。	A	【達成状況】 ・生徒の数値目標 82%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・「自ら進んで…」の重要性を確認しながら更に指導の工夫を進めて行く。
	B 4 わたしは、言われなくても家庭学習に取り組んでいる。 (H30 B 5⇒分割) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%			【達成状況】 ・生徒の数値目標 90%を達成できなかった。保護者の結果との差異が大きく、課題である。 【次年度の方針】 ・家庭学習の一層の推進に向け、努力する。
	B 5 生徒は、学年に応じた必要な時間、家庭学習に取り組んでいる。 (H30 B 5⇒分割) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 82%			【達成状況】 ・生徒の数値目標 82%を達成できなかった。保護者の結果との差異が大きく、課題である。 【次年度の方針】 ・家庭学習の一層の推進に向け、努力する。
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 (R 1 新規) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	① 道徳・学級活動等の授業を工夫し、相互理解と互いに高め合う集団づくりを実践して行く。 ② 朝の会や帰りの会等で、生徒の善行を賞賛する機会を増やし、	B	【達成状況】 ・生徒の数値目標 90%を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・左記の具体的な取組の一層の深化を図り、向上を目指す。
	A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 (R 1 新規) 【数値指標】 地域住民の肯定的回答 90%	① 地域学校園全体で連携を図り、効果的な道徳教育を行い、それを地域学校園で実践することで、地域の高齢者に対する感謝やいたわりの気持ちを高める。 ② 地域協議会主催の特別養護施設の交流会への積極的な参加を促す。		
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 (H30 A 3改) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%	① 教職員は、日課表を基に、生徒にチャイムや学校のきまりを守って生活することの大切さを理解させる。 ② 言語環境を含め、安全・安心な環境整備に努める。	B	【達成状況】 ・生徒の数値目標 85%を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・教職員の共通理解の下、具体策に示した指導を一層充実させ、結果につなげて行く。

目指す生徒の姿	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 (H30 A13+14 改) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① GCR活動のG:(あいさつ)を充実させるため、生徒会を中心とした取組の充実を図る。 ・毎週水曜日のあいさつ運動の推進 ・2つの小学校に出向いて、あいさつ運動を実施する。 ② 授業中やその場に応じたにおける望ましい言葉づかいの習慣化を図る。 ③ 生徒会・委員会活動での啓発⇒礼儀正しく、場に応じた言動がとれる生徒を育成して行く。	B  【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を上回り達成できた。 ・他の評価者の結果は昨年度より下がった。 【次年度の方針】 ・教職員の率先垂範と共に、生徒の主体的な活動がより充実するよう指導を工夫する。
	B 1 わたしは、相手と目を合わせてあいさつをしている。 (H30 B 1 改) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%		B  【達成状況】 ・生徒の数値目標 90%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・A4 と同じ
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 (R 1 新規) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① すべての学校教育の中で、発達段階に応じたキャリア教育を進めて行くと共に、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力を育成する。 ② 宮っ子チャレンジが生徒一人一人のキャリア形成の一助になるよう、それぞれの目標や課題に沿った活動になるよう支援指導を行う。	B  【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き、左記の具体的な取組に力を入れ、指導の充実を図って行く。
	A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 (R 1 新規) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① 地域ボランティアに積極的に参加させると共に、中学生が活躍できる場の開拓を進める。 ② 2年生で実施する「宮っ子チャレンジ(社会体験活動)」柱に、キャリア教育を学校教育の多くの場面で充実させて行く。 ③ 進路の実現に向けて、ガイダンス機能を充実させると共に、個に応じた指導の工夫を進める。	
	A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 (H30 A15+16 差替え) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	健康増進に関して ① 昼休み、校庭や体育館において身体を動かす呼びかけをする。 ② 放課後、積極的に部活動に参加するよう促す。 ③ 「姿勢の日」活動による啓発指導。 食育に関して ① 家庭科と連携した栄養指導の実施 ② 給食委員会によるマナー指導、 ③ 「お弁当の日」を活用した栄養指導 ④ 小・中連携した給食指導の実践 安全教育に関して ① 避難訓練等に課題意識を持って積極的に参加させる。 ② 日頃から、危険箇所について意識させ、身を守ることを第一に、危険管理能力を育成する。	B  【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き、左記の具体的な取組に力を入れ、指導を確実に進めて行く。

目 指 す 生 徒 の 姿	A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 (R 1 新規) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%	① 外国語の授業や総合的な学習の時間などでの言語活動の充実を図る指導により、コミュニケーション能力を高める。 ② 修学旅行や宮チャレなどの校外活動等の機会を活かして、積極的に外国人とのコミュニケーションを図らせる。	B 【達成状況】 ・生徒の数値目標 70%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き、左記の具体的な取組に力を入れ、指導の充実を図って行く。
	A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 (R 1 新規) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① 社会科の教科指導の中で、地理や歴史において宇都宮市と比較させ、理解を深める機会を増やす。 ② 食育及び委員会活動における地産地消や郷土の食文化の紹介等の取組みを通して、宇都宮市の良さに触れさせる機会を増やす。	A 【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・左記の具体的な取組の一層の充実・深化を図り、向上を目指し取り組んで行く。
	A 10 生徒は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 (R 1 新規) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① 読書活動やNIE活動の積極的な推進で、図書資料等を学習に活用する力を高める。 ② 教師が積極的に授業でI C T機器を活用することは元より、技術科をはじめ各教科や総合的な学習においてパソコン教室及びタブレットP Cの一層の活用を図る。	B 【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・左記の具体的な取組の一層の充実・深化を図り、向上を目指し取り組んで行く。
	A 25 学校は、学習に必要なI C T機器や図書等を整えている。 (R 1 新規) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① 担当を中心に、I C T機器の一層の活用を呼びかけると共に、管理及び活用状況の把握に努め、機器の充実に努める。 ② 図書の購入希望を先生方及び生徒方募る等、工夫しながら図書室配架の充実を図る。	B 【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・左記の具体的な取組を一層の充実・深化を図り、向上を目指し取り組んで行く。
	A 12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 (R 1 新規) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① P T Aや生徒会を中心に行っているペットボトルキャップの回収やリサイクル、ゴミの分別等に積極的に協力させ、環境への意識を高める。 ② 各教科指導の中で、持続可能な社会についての関連等に触れると共に、実現に向けた工夫について考えさせる機会を増やす。	B 【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・左記の具体的な取組を確実に進め、向上を目指す。
	B 2 わたしは、清掃活動に積極的に取り組んでいる。 (H 30 B 1 改) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	① G C R活動（G：あいさつ，C：清掃，R：読書）の一層の充実を図る。 ・担当教員による率先垂範 ・時間に始まり時間に終わる指導の徹底 ② 生徒会・委員会活動での啓発 ・清掃コンクール等の実施 ・木曜朝の簡易清掃活動の実施 ・委員会朝会での啓発活動の実施	B 【達成状況】 ・生徒の数値目標 90%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き、左記の具体的な取組を確実に実施し、指導の充実を図って行く。

目指す生徒の姿	B3 朝の読書の時間のみならず日常的に読書をしている。 (H30 B1改) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	① GCR活動（G：あいさつ，C：清掃，R：読書）の一層の充実を図る。 ・朝の読書（10分間）実施 ・担当教員による率先垂範 ② 生徒会・委員会活動での啓発 ・多読コンクール等の実施 ・給食委員会とのコラボ企画等を通した啓発活動の実施 ・図書室の配架や学級文庫の充実	B	 【達成状況】 ・生徒の数値目標 90%を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・読書習慣の全くない生徒への指導を工夫して行く。その他、左記の具体的な取組を確実に進め向上を目指して行く。
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 (R1 新規) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① 随時、生徒一人一人の課題を全職員で共有しながら、適切な支援を行う。 ② 市教育センター等との連携を図りながら、実態に応じた適切な指導の情報を得たり、指導を仰いだりし、先生方の指導力を高める。		 【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き左記の通り、連携を図りながら指導の充実に努める。
目指す	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 (R1 新規) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① 道徳・学級活動等の授業を工夫し、相互理解と互いに高め合う集団づくりを実践して行く。 ② 「Q-Uアンケート」等のアンケート調査結果や毎日の日録指導を通して、生徒の一人一人の課題の把握や心に寄り添う指導を進める。	B	【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き左記の通り、連携を図りながら指導の充実に努める。
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて適切な支援をしている。 (R1 新規) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① 道徳・学級活動等の授業を工夫し、相互理解と互いに高め合う集団づくりを実践して行く。 ② 随時、対象生徒の課題等を全職員で共有しながら、各関係機関等との連携を図りながら、適切な支援を行う。		
学校の姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 (H30 A5) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① 道徳・学級活動等の授業を工夫し、相互理解と互いに高め合う集団づくりを実践して行く。 ② 「いじめ防止アンケート」等の教育相談機能により、早期発見に努めると同時に、いじめの根絶をめざし、組織的確な対応に心掛ける⇒を行う。	B	 【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・左記の取組のほかに、保護者や地域への情報発信・周知広報活動にも力を入れて行くようにして、指導の連携・強化を図る。
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 (H30 A1) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① 本校の特色ある取組みの一つであるGCR活動で、生徒に活動の検証をさせながら自主的・主体的に取り組むようにする。 ② 茶道教室を通して、日本の伝統文化に対する興味・関心を高めるとともに、豊かで心穏やかな心情を育む。		 【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・左記の取組のほかに、教職員同士及び保護者等との一層の共通理解や連携が図れるよう工夫して行く。

目 指 す 学 校 の 姿	A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 (H30 A4) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① 授業の中で、「めあて」を黒板に書くことや、「振り返り」を必ず行い、何を学習したのかを、生徒に確認させる。 ② 全教職員により、計画的に研究授業・研究協議を実施し、指導力の向上に努める。	A  【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き、左記の具体的な取組を確実に実施すると共に、生徒の学力を向上させられるよう全職員が共通理解の下、家庭学習での定着を図れるよう工夫して行く。
	A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 (H30 A11+12 差替え) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% ⇒教職員のみ実施	① 教育目標及び学校経営の方針を全職員が意識し、全教育活動でそれが生かせるように活動しながら業務を進める。 ② 各部会を核に、関係職員が情報を共有しながらSCやMS等の専門性を活かし連携を図る。	B  【達成状況】 ・教職員の数値目標 80%を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・左記の具体的な取組を確実に進め、より一層の連携・協力が図れるよう工夫して行く。
	A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 (R1 新規) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% ⇒教職員のみ実施	① 教職員一人一人が勤務時間の管理を行い、現状を数値で確認する。 ② 指導のねらいを常に意識しながら、準備等の分担や精選を行うなど、業務の効率化に励む。	A  【達成状況】 ・教職員の数値目標 80%を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・左記の具体的な取組を確実に進め、より一層効率的に業務を進められるよう工夫して行く。
	A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 (H30 A10) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① 田原地域学校園（他2つの小学校）において、運営会議を定期的に関き、小・中の連携を図る。 ② あいさつ運動や冒険活動教室の協同実施、中学校訪問等、小・中合同で実施する行事の一層の充実を図る。	B  【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き、左記の具体的な取組を確実に進め、特に学力の向上を目指し、指導の充実を図って行く。
	A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 (H30 A19 改定) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① 田原学校園地域協議会（他2つの小学校）において、運営会議等を定期的に関き、教育講演会や音楽のつどい、あいさつ標語コンクールを実施する。 ② 地元消防団や特別養護施設（老人ホーム）等との連携を図り、共同開催の行事の充実を図る。	B  【達成状況】 ・生徒の数値目標 80%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・生徒のよりよい成長を目指して、引き続き、左記の具体的な取組を確実に進めて行く。
	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 (H30 A8) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%	① PTAや地域協議会と連携し、学校教育活動を通して、交流を深め、支援・協力を得る。 ② 地域社会と連携し、積極的にボランティア活動や行事に参加・協力をする。	B

目指す学校の姿	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 (H30 A9) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80% ⇒教職員と保護者のみ実施	① 学校における施設・用具等の整理整頓及び計画的な修繕と、委員会を中心としたGCR活動のC（清掃）にも力を入れる。 ② PTAや地域協議会の協力のもと、花壇や学校農園の充実を図る。	B  【達成状況】 ・教職員と保護者共に80%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き、左記の具体的な取組を確実に実施すると共に、活動の工夫を図って行く。
本校の特色・課題等	【再掲】 B1 わたしは、相手と目を合わせてあいさつをしている。 (H30 B1改) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	① GCR活動のG：(あいさつ)を充実させるため、生徒会を中心とした取組の充実を図る。 ・毎週水曜日のあいさつ運動の推進 ・2つの小学校に出向いて、あいさつ運動を実施する。 ② 授業中やその場に応じたにおける望ましい言葉づかいの習慣化を図る。 ③ 生徒会・委員会活動での啓発⇒礼儀正しく、場に応じた言動がとれる生徒を育成して行く。	B 「目指す生徒の姿」A4の欄を再掲  【達成状況】 ・生徒の数値目標90%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・A4と同じ
	【再掲】 B2 わたしは、清掃活動に積極的に取り組んでいる。 (H30 B1改) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	① GCR活動（G：あいさつ、C：清掃、R：読書）の一層の充実を図る。 ・担当教員による率先垂範 ・時間に始まり時間に終わる指導の徹底 ② 生徒会・委員会活動での啓発 →清掃コンクール等の実施 ・木曜朝の簡易清掃活動の実施 ・委員会朝会での啓発活動の実施	B 「目指す生徒の姿」B2の欄を再掲  【達成状況】 ・生徒の数値目標90%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き、左記の具体的な取組を確実に実施し、指導の充実を図って行く。
	【再掲】 B3 朝の読書の時間のみならず日常的に読書をしている。 (H30 B1改) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	① GCR活動（G：あいさつ、C：清掃、R：読書）の一層の充実を図る。 ・朝の読書（10分間）実施 ・担当教員による率先垂範 ② 生徒会・委員会活動での啓発 ・多読コンクール等の実施 ・給食委員会とのコラボ企画等を通した啓発活動の実施 ・図書室の配架や学級文庫の充実	B 「目指す生徒の姿」B3の欄を再掲  【達成状況】 ・生徒の数値目標90%を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・読書習慣の全くない生徒への指導を工夫して行く。その他、左記の具体的な取組を確実に進め向上を目指して行く。
	【再掲】 B4 わたしは、言われなくても、家庭学習に取り組んでいる。 (H30 B5) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%	① 毎週水曜日を「家庭学習の日」とし部活動なしで一斉下校させる。 ② 生徒が学習に主体的に取り組めるよう、「学び方」の理解や「学ぶ楽しさ」を味わわせるための宿題を工夫する。 ③ 学年に応じた自主学習を推奨する。	A 「目指す生徒の姿」B4の欄を再掲  【達成状況】 ・生徒の数値目標82%を達成できなかった。保護者の結果との差異が大きく、課題である。 【次年度の方針】 ・家庭学習の一層の推進に向け、努力する。
	【再掲】 B5 生徒は、学年に応じた必要な時間、家庭学習に取り組んでいる。 (H30 B5) 【数値指標】 生徒の肯定的回答 82%		A 「目指す生徒の姿」B5の欄を再掲  【達成状況】 ・生徒の数値目標82%を達成できなかった。保護者の結果との差異が大きく、課題である。 【次年度の方針】 ・家庭学習の一層の推進に向け、努力する。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に・印または該当箇所に下線を付ける。

本校では、「人間の尊厳を重んじる教育を基盤に、生きる力をはぐくむことを目指し、未来を切り拓いていける生徒を育成する」という基本目標の下、学習指導の重点目標を「自ら学びに向かい学力を高める指導の充実」としています。本年度は、『基礎・基本の確実な定着』～個に応じた指導の工夫や主体的な学習態度の育成～を学校課題と位置付けし、教師側が「わかる」授業を実践し、生徒側はお互いを認め合い、教え合いながら高め合う集団を育成することをテーマに取り組んできました。

また、※家庭学習の習慣化の定着を図ることや、学校（小中一貫）と家庭との連携を強化し、家庭学習の確保と質の向上を図ることをめざし、家庭学習を奨励し、家庭で取り組ませている自主学习ノートを毎日提出させ、提出状況や学習状況をチェックするなど、家庭学習の充実に取り組んできました。

⇒ 学習に関する項目の結果を見ると、(A1)「生徒は、授業中、進んで学習に取り組んでいる」においては、保護者の肯定回答が(83.8%)と昨年度より7.5p上昇した。授業参観等で、先生方の指導により生徒が授業に活発に取り組んでいる様子等を評価したものと思われます。しかし、本年度新たに設定した(B4)「我が家の子供は、言われなくても自分から、家庭学習に取り組んでいる。」の保護者回答の肯定割合は(56.1%)、同様に(B5)「我が家の子供は、学年に応じた必要な時間、家庭学習に取り組んでいる。」が(47.4%)と、想定外の低い値となったと共に、生徒の回答の肯定割合もそれぞれ(78.3%)、(70.8%)と目標とした90%を大きく下まわるなど、家庭学習の取組みの様子については課題が明白となりました。特に(B4)の「自分から…」と(B5)の「必要な時間…」の2問の回答については、保護者と生徒共に強い相関関係が確認できたことから、「自分から机に向かうこと」＝「学習への主体性の大切さ」が重要であることが分かり、本校の学習指導において掲げた課題「自ら学びに向かい学力を高める指導の充実」の重要性を確認することができました。そのため、今後も家庭学習を含めた学習習慣の定着をはじめ、一層の学力の向上を目指して指導の工夫を進めて行きます。

生徒指導面では、「望ましい人間関係の構築を図り、自主・自律の精神を育む生徒の育成」のテーマの下、「心の教育の充実」を始め、「基本的な生活行動様式の徹底」、「共通理解と同歩調による指導の強化」、「日常の観察や教育相談を通しての生徒理解の深化」、「いじめの解消と予防的指導」、「清掃活動の徹底」、「S C及び教育関係機関との連携を密にした教育相談体制の強化」の指導に全職員で日々取り組んできました。

⇒ 生徒指導に関する項目の結果を見ると、(A3)「生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている」については、昨年度より生徒回答は5p、教職員が7p下がるなど、昨年との比較においては、残念ながら成果は見いだせませんでした。保護者は2p向上し、地域の方は100%回答と肯定的に捉えていただいていることから、学校生活の中での生徒の過ごし方等に課題があると思われます。

また、本校の特色ある教育活動のG C R活動のG（あいさつ）においては、本年度も生徒会を中心として校内や小学校に出向いてのあいさつ運動を実施するなど、あいさつを啓発する活動は行ってきましたが、(A4)「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」の生徒の肯定回答割合は4p下がり、保護者も2p、地域の方も9p下がっていることから、やはり課題と言えます。生徒自身が「まだまだ」と感じていることを肯定的にとらえ、今後も生徒と共に指導の充実を目指して行きます。

特色ある学校づくりについては、引き続き本年度もG C R活動の充実と全学年による茶道教室、学校農園の実施等、小学校や地域との連携を図りながら取り組んできました。

・健康教育については、本年度も昨年度に引き続き、県内の小・中学校の最高賞である表彰「栃木県健康推進学校の最優秀校」を受賞することができました。アンケートにおいても、本年度新設された質問項目No.6 A6「生徒は、健康や安全に気を付けて生活している」での生徒の肯定的回答も(91%)と高い値となり、本校生徒の健康や安全への意識の高さが示されました。今後も学校園内の小学校や地域と連携して、健康教育を推進して行きます。

・茶道教室は、本年度も、3年生から1年年まで時期を変えて実施し、全学年で奥の深い日本文化に触れることができました。茶道の先生方が昨年度途中から、田原地区に縁のある先生方に代わり、今年で2年目となり、学年ごとのねらいや内容もほぼ固まってきたことから、今後も工夫を凝らしながら継続して行きます。

・学校農園では、本年度も学校の北側の550坪の農園において、1学年と給食委員会がサツマイモなどを栽培収穫し、給食の食材に使用したり、2つ小学校にも分けたりするなど、「食育」を通した小学校との交流にも繋げる取組みを行いました。

⇒ こうした取組みの結果として、今回のアンケート調査の結果を見ると、成果につながっていると考えられる項目が少なく、多くの項目で昨年度と比較して下がってしまっていました。確かに本年度刷新された項目が多く、単純な比較はしにくい状況ではあるものの反省すべき点が多いと言えます。また、本年度は12名の職員が転出し、10名が転入するという大きな異動があり、共通理解に時間がかかってしまうなど、課題があったことは否めませんが、本年度の反省をしっかりと次年度に生かし、家庭との連携をより高め、協力しながら学校全体として学習指導や生徒指導に取り組んで行きます。

7 学校関係者評価

令和2年1月24日に行われた第4回地域協議会の席上にて、本年度新たに宇都宮市が設定した質問項目に対する対応の状況等について質問やご意見を多くいただきました。以下、その概略を記します。

・A12「生徒は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」について

Q：「持続可能な社会」という概念をどのように指導しているのか？生徒は理解しているのか？

A：学習指導要領の改定の経緯の中の説明では、「成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出して行くことが期待される。」とあり、また各教科の基本方針の中でもそれぞれ、「持続可能な社会」をつくって行くための資質能力の育成を目指すよう記されているので、先生方においてはその意味を理解し、直接的・間接的に関わらず授業の中での学習内容に生かされていますが、「持続可能な社会」という表現を授業の中で直接的に扱う場面はおそらくほぼ無く、生徒の肯定的回答割合が（69%）となっていることから、教職員（28%）と較べると、職員が思っているより生徒には身近な問題として理解されていることが分かりました。ちなみに小学校では、「持続可能な社会」という文言は使用せず「水、電気を大切にしていますか？」「ゴミやエネルギー・・・」という聞き方になっています。

意見：⇒今年の値をベースとして、今後向上できるよう指導を工夫して行ってください。

・A9「私は、宇都宮の良さを知っている」について

Q：なぜ、生徒の数値よりも教職員の数値が低いのか？

A：生徒は、小学校の3年生の時に「わたしたちの宇都宮市」という教科書を使って、市内の基本的な地理や歴史、農業や商業などについて学習しています。一方で、先生方は、宇都宮市出身の方がとても少なく、分野によっては中学生より宇都宮市のことを知らない場合も多いと言えます。令和3年度から「宇都宮学」という学習を中学校でも実施することになるので、今後、この項目の数値は上がって行くものと予想できます。

意見：⇒宇都宮市は、住みやすさランキングや平均世帯収入など全国でも上位にランクされるなど、他に誇れる街なので、しっかりその良さを指導して欲しいと思います。「宇都宮学」の指導の充実に期待しています。

・A20「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」について

Q：放課後19時以降の電話対応を止めたそうだが、業務への影響や負担軽減につながっているのか？

A：教職員は、やりたい仕事があるので遅くまでに残って仕事をしています。今までだと、頻度は高くないにしても、遅い時刻に電話等があるとその対応をしなければならず、自分のやりたかった仕事ができないなど、時間的な負担は少なからずありました。10月から始まった留守番電話対応については、効率化された状況を時間的な数値で表すのは難しいのですが、精神的な負担感の軽減には大いに貢献しています。保護者や地域の方にはご不便をおかけしているとは存じますが、どうぞご理解の上、ご協力をお願いいたします。

・その他・・・調査結果全体に関して・・・

Q：学習指導や生徒指導において、先生方の人数は足りていたのか？

A：昨年度と比較して、学級数はそのままですが、12名の先生が転出して10名が着任することになっていたことから、宇都宮市の方針で元々先生の数に2名減らされることになっていました。しかし、4月から着任するはずの1名が見つからないとのことで、結局は9名着任し、昨年度との比較では3名少ない状況でのスタートでした。そして、ようやく9月になりその1名が着任したのですが、英語科の先生が12月より産前産後休暇に入られ、その代わりが補充されず、結局はまた1名足りない状況が現在まで続いています。それにより、12月から急遽英語科を担当する先生が多くのクラスで変更になったり、担任も変更になった関係で数学科も担当者が変わったりしたクラスがありました。限られたマンパワーですので、先生同士が連携・協力して乗り切ることが重要なのですが、多くの先生が異動してきたばかりでもあり、慣れるのにも時間がかかっていることなどから、指導が至らぬ点が多々あったことについては否定できません。職員一同で反省し、次年度に生かしていきたいと思っています。

Q：市や教育委員会にはきちんと要望しているのか？

A：市教委には、校長から要望を出し続けていただきましたが、「見つかっていない」との回答でした。もしも、地域やご親戚で、教員免許を持っている・持っていないに関わらず、「学校で働いてみたい」「学校でボランティアをしてみたい」などの希望のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ中学校へご連絡いただければ幸いです。

意見：⇒市の教育委員会には、引き続き要望してください。4月には定期異動で、きちんとした人数になるのでしょうかから、それまでがんばってください。非常勤や臨時的任用の先生ではなく、正規の先生が配属されることを期待しています。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に・印または該当箇所の下線を付ける。

特に今年度は、本調査を通して、本校の教育目標である「自ら学び実力のある生徒」の教育的な意義を再確認することができました。また、学校行事や健康教育、GCR活動などの様々な指導を通して、同様に本校の教育目標である「心豊かで思いやりのある生徒」「健康でたくましい生徒」の大切さや本校生徒の状況・良さを確認することができました。

次年度以降も、これらの取組は、本校の伝統として力を入れながら、その中で、できるだけ生徒が主体的に学習や生活等の充実を図れるよう、全職員で指導の工夫をしていこうと思います。そのためにも、先ずは教職員自身が率先垂範の精神を大切にし、すべての教師が生徒の手本となるべく職員間の共通理解を図りながら、行動・実践し、そして、そのうえで生徒を導き、本年度のよりもすべての項目で向上できるよう生徒と共に努力していこうと思います。

また、働き改革の波がいよいよ学校にも押し寄せて来ましたが、日本の教育制度の良い面を持続可能にして行くためにもどうしても取り組まないとならないところではありますが、本年度に関しては前述の通り、なかなか成果を上げられませんでした。電話対応などの宇都宮市主導の取組を生かしながら、本校でもすこしずつ改善していきます。保護者や地域の皆様にはご不便をおかけすることがあると思いますが、何卒ご理解の上、引き続きご協力をお願いいたします。